

## 令和元年版 治山林道必携 積算・施工編 の訂正について（ご案内）

お客様におかれましては、当協会発行の書籍をご利用いただきありがとうございます。

さて、令和元年8月に発行した見出しの書籍につきましては、令和元年9月18日に林野庁から追加の正誤が発表されました。本訂正は、この林野庁正誤表に対応するとともに、その他の訂正を要する事項を併せまして、以下のとおり謹んでお知らせ致します。皆様にはご不便をおかけしますことをお詫び申し上げます。

- ②（訂正箇所）上巻3ページ 表題下括弧書き [最終改正]  
（誤） 平成31年3月29日付け30林整計第1111号  
（正） 平成31年4月8日付け30林整計第1111号
  
- ②（訂正箇所）上巻99ページ 表題下括弧書き [最終改正]  
（誤） 平成30年3月29日付け29林整計第574号  
（正） 平成31年4月5日付け30林整計第1117号
  
- ②（訂正箇所）上巻100～101ページ 2 諸雑費及び端数処理の取扱い  
（誤） （略）  
（正） <すべて（表題及び本文）削除>
  
- ②（訂正箇所）上巻101ページ 項目番号  
（誤） 3 施工地域が点在する工事の間接工事費の積算  
（正） 2 施工地域が点在する工事の間接工事費の積算
  
- ②（訂正箇所）上巻102ページ 図表番号  
（誤） 図3-1 施工箇所点在の間接工事費  
（正） 図2-1 施工箇所点在の間接工事費
  
- ②（訂正箇所）上巻103ページ 図表番号  
（誤） 図3-2 施工箇所が点在する場合の積算イメージ  
（正） 図2-2 施工箇所が点在する場合の積算イメージ
  
- ②（訂正箇所）上巻105ページ 項目番号  
（誤） 4 随意契約方式により工事を発注する場合の共通仮設費、現場管理費及び一般管理費等の調整について  
（正） 3 随意契約方式により工事を発注する場合の共通仮設費、現場管理費及び一般

## 管理費等の調整について

- ② (訂正箇所) 上巻 105 ページ 図表番号  
(誤) 表 4 - 1 工種種別  
(正) 表 3 - 1 工種種別
  
- ② (訂正箇所) 上巻 109 ページ 項目番号  
(誤) 5 森林整備保全事業における現場環境改善費の積算について  
(正) 4 森林整備保全事業における現場環境改善費の積算について
  
- ② (訂正箇所) 上巻 110 ページ 図表番号  
(誤) 表 5 - 1 現場環境改善比率  
(正) 表 4 - 1 現場環境改善比率
  
- ② (訂正箇所) 上巻 111 ページ 図表番号  
(誤) 表 5 - 2 実施する内容  
(正) 表 4 - 2 実施する内容
  
- ② (訂正箇所) 上巻 111 ページ 項目番号  
(誤) 6 山間僻地について  
(正) 5 山間僻地について
  
- ② (訂正箇所) 上巻 112 ページ 項目番号  
(誤) 7 歩掛の補正  
(正) 6 歩掛の補正
  
- ② (訂正箇所) 上巻 117 ページ 項目番号  
(誤) 8 山林砂防工の適用条件について  
(正) 7 山林砂防工の適用条件について
  
- ② (訂正箇所) 上巻 118 ページ 項目番号  
(誤) 9 請負工事の特許使用料の積算  
(正) 8 請負工事の特許使用料の積算
  
- ② (訂正箇所) 上巻 119 ページ 項目番号  
(誤) 10 工事の一時中止に伴う増加費用等の積算について

(正) 9 工事の一時中止に伴う増加費用等の積算について

② (訂正箇所) 上巻 122 ページ 図表番号

(誤) 表 10－1 各工種毎の係数

(正) 表 9－1 各工種毎の係数

② (訂正箇所) 上巻 122 ページ 項目番号

(誤) 11 適切な工期の設定について

(正) 10 適切な工期の設定について

② (訂正箇所) 上巻 123 ページ 図表番号

(誤) 表 11－1 準備期間及び後片付け期間

(正) 表 10－1 準備期間及び後片付け期間

② (訂正箇所) 上巻 129～132 ページ 3 週休 2 日を実施する工事における間接工事費の補正 (試行)

※ 「週休 2 日を実施する工事における間接工事費の補正について (試行)」は、「工事における週休 2 日の取得に要する費用の計上について (試行)」が施行されたことにより廃止されました。

新しい通知は以下をご参照下さい。

[http://www.rinya.maff.go.jp/j/sekou/gijutu/attach/pdf/sekisan\\_kijun-250.pdf](http://www.rinya.maff.go.jp/j/sekou/gijutu/attach/pdf/sekisan_kijun-250.pdf)

② (訂正箇所) 上巻 135 ページ 表題下括弧書き [最終改正]

(誤) 平成 30年 3月 29日付け 29林整計第 573号

(正) 平成 31年 4月 8日付け 30林整計第 1111号

② (訂正箇所) 上巻 161 ページ 表 2. 1 掘削積込機械の適用機種の種類 作業内容欄

「施工土量 10,000 m<sup>3</sup>未満」の右欄及び

「施工土量 10,000 m<sup>3</sup>以上 50,000 m<sup>3</sup>未満」の右欄 (2箇所)

(誤) 上記以外で旋回範囲に制限がある場合 ※2箇所

(正) 上記以外で狭隘で旋回範囲に制限がある場合 ※2箇所

② (訂正箇所) 上巻 173 ページ 3 (1) 埋戻工 表 山林砂防工(普通作業員)の行 4 列目

(誤) 4.0

(正) 7.0

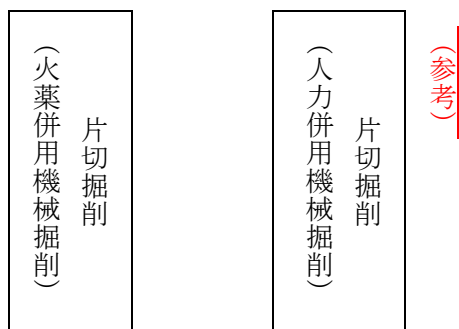
② (訂正箇所) 上巻 174 ページ (3) 人力はねつけ・締固め

(誤) (略)

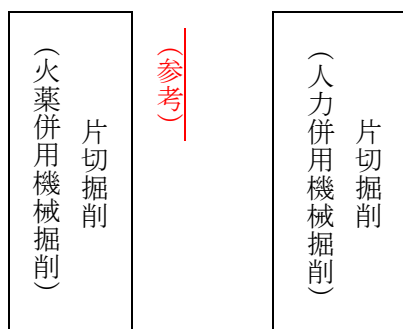
(正) <すべて(表題、本文及び表)削除>

② (訂正箇所) 上巻 176 ページ 図 3-1 掘削法の選定フロー 右下の枠 (2箇所)

(誤)



(正)



② (訂正箇所) 上巻 185 ページ 1-6 1 表 1 大型ブレーカ転石破碎歩掛 (注) 2

(誤) ……バックホウ (排出ガス対策型 (第2次基準値)) ……

(正) ……バックホウ (排出ガス対策型 (第3次基準値)) ……

② (訂正箇所) 上巻 237 ページ 3) 表 その他作業時間係数 (α) 規格欄 2・3 行目

(誤)

バックホウ	クローラ型 排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積 0.8 m <sup>3</sup> (平積 0.6 m <sup>3</sup> )
	クローラ型 排出ガス対策型 (第1次基準値) 山積 0.45 m <sup>3</sup> (平積 0.35 m <sup>3</sup> )
	(略)

(正)

バックホウ	クローラ型 排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積 0.8 m <sup>3</sup> (平積 0.6 m <sup>3</sup> )
	クローラ型 排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積 0.45 m <sup>3</sup> (平積 0.35 m <sup>3</sup> )
	(略)

② (訂正箇所) 上巻 240 ページ 2-9 (2) 1) 飛行諸元 表 (2 段目)

(誤)

機種名	<u>SA315</u>	<u>ベル 206B</u>	AS350B
空輸速度 (km/h)	<u>150</u>	<u>150</u>	180
積載量ランク (kg)	500~700	300~400	

(正)

機種名	<u>AS350B3</u>	AS350B
空輸速度 (km/h)	<u>180</u>	180
積載量ランク (kg)	500~700	300~400

② (訂正箇所) 上巻 240 ページ 2-9 (2) 1) 飛行諸元 (参考) 表 機種名欄

(誤) ベカマン式 K-1200

(正) カマン式 K-1200

② (訂正箇所) 上巻 241 ページ 2-9 (2) 3) 物資輸送風速上限 (参考) 表 機種名欄

(誤) ベカマン式 K-1200

(正) カマン式 K-1200

② (訂正箇所) 上巻 268 ページ 3-4-1 2 施工概要の次 (4 施工行歩掛の前)

(誤) <空欄>

(正) 3 編成人員

ひび割れ補修工 (充てん工法) の編成人員は、次表を標準とする。

表 3. 1 編成人員 (人/橋)

<u>土木一般世話役</u>	<u>特殊作業員</u>	<u>普通作業員</u>
<u>1</u>	<u>2</u>	<u>1</u>

② (訂正箇所) 上巻 275 ページ 3-5 2 施行概要 フロー図

(誤) ※実線

配筋状況確認  
(鉄筋探査等)

(正) ※点線

配筋状況確認  
(鉄筋探査等)

② (訂正箇所) 上巻 441 ページ 5-14 6 (2) 機械運転単価表 規格欄

(誤) ローラ型 クレーン機能付

(正) クローラ型 クレーン機能付

② (訂正箇所) 上巻 525 ページ 7-3-5 表 施行歩掛 数量欄 2・3 行目

(誤)

杭	末口径 0.09×1.80 長	20 本 <u>0.31</u> m <sup>3</sup>
横 木	末口径 0.09×1.80 長	27.8 本 <u>0.43</u> m <sup>3</sup>

(正)

杭	末口径 0.09×1.80 長	20 本 <u>0.36</u> m <sup>3</sup>
横 木	末口径 0.09×1.80 長	27.8 本 <u>0.50</u> m <sup>3</sup>

② (訂正箇所) 上巻 540 ページ 7-8-2 表 施行歩掛 数量欄 4・5 行目

(誤)

横 木	末口径 0.10m×1.20m長	3 本 <u>0.12</u> m <sup>3</sup>
〃	末口径 0.10m×1.40m長	16 本 <u>0.14</u> m <sup>3</sup>

(正)

横 木	末口径 0.10m×1.20m長	3 本 <u>0.04</u> m <sup>3</sup>
〃	末口径 0.10m×1.40m長	16 本 <u>0.22</u> m <sup>3</sup>

② (訂正箇所) 上巻 698 ページ 4 (1) クレーンによる鋼矢板及びH形鋼引抜 10 枚 (本)

当たり単価表 ラフテレーンクレーン賃料の行 摘要欄

(誤) 表 3. 1 機械損料

(正) 表 3. 1 機械賃料

② (訂正箇所) 上巻 740 ページ 先頭行

(誤) 7 単価表

(正) 6 単価表

② (訂正箇所) 上巻 740 ページ (1) 仮設用モルタル吹付工 100 m<sup>2</sup>当たり単価表

小型渦巻ポンプの行 摘要欄

(誤) 揚水用 必要に応じて計上する。

(正) 揚水用 必要に応じて計上する。 表 4.1 機械損料

- ② (訂正箇所) 上巻 809 ページ 3-2 かご工 (A) (1) 適用範囲  
 (誤) 本歩掛は、森林……  
 (正) 本歩掛は、第1編 共通工5-16 かご工(B)及び森林……
- ② (訂正箇所) 上巻 809 ページ 3-2 かご工 (A) (3) 機種を選定 規格欄  
 (誤) <空欄>  
 (正) 標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)山積0.5m<sup>3</sup>(平積0.4m<sup>3</sup>)
- ② (訂正箇所) 上巻 810 ページ (4) 1) じゃかご  
 (誤) じゃかご施工歩掛は、次表とする。  
 (正) じゃかご施工歩掛は、次表を標準とする。
- ② (訂正箇所) 上巻 810 ページ (4) 1) 表 備考 2  
 (誤) 2 本歩掛は、床拵え・埋戻を含む。  
 (正) 2 詰石量は、式5-1にて補正済の数量である。
- ② (訂正箇所) 上巻 811 ページ (4) 2) ふとんかご  
 (誤) ふとんかご施工歩掛は、次表とする。  
 (正) ふとんかご施工歩掛は、次表を標準とする。
- ② (訂正箇所) 上巻 812 ページ (6) 1) じゃかご 10m 当たり単価表  
 「世話役」の行 摘要欄、  
 「詰石」の行 摘要欄 及び  
 「バックホウ (クローラ型)」の行 摘要欄 (3箇所)  
 (誤) (4)-1) 又は(4)-2) ※3箇所  
 (正) (4)-1) ※3箇所
- ② (訂正箇所) 上巻 837 ページ 6 施工図 (4) 暗渠管  
 (誤) ……ロス率は「第4共通工(1) 4-1-8暗渠排水管」による。  
 (正) ……ロス率は「森林整備保全事業施工パッケージ型積算方式の基準2章共通工⑬排水構造物工」による。
- ② (訂正箇所) 上巻 870 ページ 図1-1 施工図 右下説明文  
 (誤) ※1 継杭は地中部のみとし、地上部の継杭は場所打杭工の対象としたい。  
 (正) ※1 継杭は地中部のみとし、地上部の継杭は場所打杭工の対象としない。

② (訂正箇所) 上巻 876 ページ (6) 1) モルタルを使用する場合 式の係数

(誤) D : 掘削径 (mm)

(正) D : 掘削径 (m)

② (訂正箇所) 上巻 907 ページ 4-7 (1) 適用範囲 第2段落

(誤) 適用範囲は、設計杭径 170 以上 580 mm以下、掘削長 30m以下とする。ただし、防護柵については、設計杭径 271 超え 320 mm以下とし、……

(正) 適用範囲は、設計杭径 170 mm以上 580 mm以下、掘削長 30m以下とする。ただし、防護柵については、設計杭径 270 mm超え 320 mm以下とし、……

② (訂正箇所) 上巻 914 ページ 機種を選定 (B工法) 備考 4

(誤) 4 補助クレーンの場合、作業は準備作業までとする。

(正) 4 補助クレーンの場合、作業は標準作業までとする。

② (訂正箇所) 上巻 914 ページ 機種を選定 (C工法) 表 3・4 行目 摘要欄

(誤)

ダウンザホールハンマ	(略)	(略)	(略)	<u>(5) - (6)</u>
空気圧縮機	(略)	(略)	(略)	<u>(5) - (7)</u>

(正)

ダウンザホールハンマ	(略)	(略)	(略)	<u>(6)</u>
空気圧縮機	(略)	(略)	(略)	<u>(7)</u>

② (訂正箇所) 上巻 916 ページ 2) 選定基準 ・30kW 「及び」の下の行

(誤) 設計杭径 : 320mm 未満

(正) 設計杭径 : 320mm 以下

② (訂正箇所) 上巻 916 ページ (6) ダウンザホールハンマの選定 表

(誤)

設計杭径 (mm)	170 以上 220 以下	220 超え 270 以下	270 超え 320 以下	320 超え 360 以下	360 超え <u>410</u> 以下	<u>410</u> 超え <u>460</u> 以下	<u>460</u> 超え 510 以下	510 超え 580 以下
ダウンザホールハンマ規格	250~ 300mm	<u>202</u> ~ 381mm	382~457mm		508~762mm			

(正)

設計杭径 (mm)	170 以上 220 以下	220 超え 270 以下	270 超え 320 以下	320 超え 360 以下	360 超え <u>430</u> 以下	<u>430</u> 超え 510 以下	510 超え 580 以下
ダウンザホールハンマ規格	250~ 300mm	<u>302</u> ~ 381mm	382~457mm		508~762mm		



② (訂正箇所) 上巻 917 ページ (7) 空気圧縮機の選定 表 1 行目

(誤)

設計杭計 (mm)	170 以上～ <u>360</u> 以下	<u>360</u> 超え～ <u>460</u> 以下	<u>460</u> 超え～ 510 以下	510 超え～ 580 以下
--------------	--------------------------	---------------------------------	--------------------------	-------------------

(正)

設計杭計 (mm)	170 以上 <u>320</u> 以下	<u>320</u> 超え <u>430</u> 以下	<u>430</u> 超え 510 以下	510 超え 580 以下
--------------	-------------------------	--------------------------------	-------------------------	------------------

② (訂正箇所) 上巻 920 ページ ウ (ア) H形鋼(モルタル杭) (T3) 表 2・3 行目

(誤)

170 mm以上 <u>326</u> mm以下	0.10	0.17	0.25
<u>326</u> mm超え 580 mm以下	<u>0.14</u>	0.31	0.48

(正)

170 mm以上 <u>320</u> mm以下	0.10	0.17	0.25
<u>320</u> mm超え 580 mm以下	<u>0.15</u>	0.31	0.48

② (訂正箇所) 上巻 920 ページ ウ (エ) 防護柵(モルタル杭) (T3) 表 2 行目・欄外

(誤)

270 mm超え 320 mm <u>未満</u>	0.02
---------------------------	------

(正)

270 mm超え 320 mm <u>以下</u>	0.02
---------------------------	------

(注) モルタル注入はグラウトポンプにより行い、外詰モルタル打設日数とする。

② (訂正箇所) 上巻 921 ページ ウ (オ) 鋼管 (T4) 表 1 行目

(誤)

杭長	溶接回数 (標準)	H形鋼規格 (mm)			
		170 以上 300 未満	300 以上 400 未満	400 以上 500 未満	500 以上 580 <u>未満</u>

(正)

杭長	溶接回数 (標準)	鋼管規格 (mm)			
		170 以上 300 未満	300 以上 400 未満	400 以上 500 未満	500 以上 580 <u>以下</u>

② (訂正箇所) 上巻 921 ページ ウ (カ) 鋼管板補正係数 (α) 表 単位表記

(誤)

鋼管板補正係数 (α)

(日/本)

(正)

鋼管板補正係数 (α)

<削除>

② (訂正箇所) 上巻 921 ページ ウ (キ) 杭 1 本当たりの溶接・ボルト接合日数 (ボルト接合) (T4) 表 単位表記

(誤) H形鋼 (ボルト接合) (T4)

<空欄>

(正) H形鋼 (ボルト接合) (T4)

(日/本)

② (訂正箇所) 上巻 923 ページ (10) 2) 中詰コンクリート補正係数 ( $K_3$ ) 表欄外注

(誤) (注) (注) 防護柵の場合は、 $D_1$  を支柱外径とし、Q1 (モルタル) のみ計上する。

(正) (注) 防護柵の場合は、 $D_2$  を支柱外径とし、Q1 (モルタル) のみ計上する。

② (訂正箇所) 上巻 930 ページ 6) 機械運転単価表 3・6～9 行目 指定事項欄 (抜粋)

(誤)

機械名	指定事項	
空気圧縮機	7.5～7.6m <sup>3</sup> /min	<u>62</u>
	18～19m <sup>3</sup> /min	<u>146</u>
発動発電機	燃料消費量→ <u>43</u>	
ラフテレーンクレーン (掘削用)	燃料消費量→ <u>95</u>	
クローラクレーン (掘削用)	燃料消費量→ <u>56</u>	
ラフテレーンクレーン (鋼管杭・H形鋼杭建込 用掘削機組立・解体用)	燃料消費量→ <u>95</u>	

(正)

機械名	指定事項	
空気圧縮機	7.5～7.6m <sup>3</sup> /min	<u>66</u>
	18～19m <sup>3</sup> /min	<u>156</u>
発動発電機	燃料消費量→ <u>60</u>	
ラフテレーンクレーン (掘削用)	燃料消費量→ <u>102</u>	
クローラクレーン (掘削用)	燃料消費量→ <u>60</u>	
ラフテレーンクレーン (鋼管杭・H形鋼杭建込 用掘削機組立・解体用)	燃料消費量→ <u>102</u>	

② (訂正箇所) 上巻 998 ページ (2) 製作工労務単価

(誤) ……26,900円とする。

(正) ……27,100円とする。

- ② (訂正箇所) 上巻 1029 ページ 5 化粧型枠  
 (誤) 5 化粧型枠  
化粧型枠を使用する場合は、「4 単価表(2)化粧型枠(橋台・橋脚工)」により、化粧型枠の必要数分について化粧型枠率分費用を加算する。  
 (正) <すべて(表題及び本文)削除>
- ② (訂正箇所) 上巻 1030 ページ 6 単価表  
 (誤) 6 単価表  
 (正) 5 単価表
- ② (訂正箇所) 上巻 1031 ページ (2) 化粧型枠(橋台・橋脚工) 100 m<sup>2</sup>当たり単価表  
 (誤) (略)  
 (正) <すべて(表題及び表)削除>
- ② (訂正箇所) 上巻 1032 ページ (3) 項目番号  
 (誤) (3) 壁式橋脚 10 m<sup>3</sup>当たり単価表 [橋台・橋脚工(1)]  
 (正) (2) 壁式橋脚 10 m<sup>3</sup>当たり単価表 [橋台・橋脚工(1)]
- ② (訂正箇所) 上巻 1033 ページ (4) 項目番号  
 (誤) (4) 逆T式橋台 10 m<sup>3</sup>当たり単価表 [橋台・橋脚工(1)]  
 (正) (3) 逆T式橋台 10 m<sup>3</sup>当たり単価表 [橋台・橋脚工(1)]
- ② (訂正箇所) 上巻 1034 ページ (5) 項目番号  
 (誤) (5) 機械運転単価表  
 (正) (4) 機械運転単価表
- ② (訂正箇所) 上巻 1034 ページ 7 項目番号  
 (誤) 7 参考図  
 (正) 6 参考図
- ② (訂正箇所) 上巻 1039 ページ (3) 1) 移動式クレーン 表 3行目 機種・規格欄  
 (誤) 油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策策型  
 (正) 油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型

② (訂正箇所) 上巻 1064 ページ (15) 5) 養生工 表

(誤)

名 称	規 格	単 位	数 量	償却率
普通作業員		人	1.6	
養生マット		m <sup>3</sup>	110	25%

養生工歩掛

(100 m<sup>3</sup>当たり)

(正)

養生工歩掛

(100 m<sup>3</sup>当たり)

名 称	規 格	単 位	数 量	償却率
普通作業員		人	1.6	
養生マット		m <sup>3</sup>	110	25%

② (訂正箇所) 上巻 1089 ページ ② イ ワイヤブリッジ防護工

(誤) ……「3 - 2 鋼橋架設工」による。

(正) ……「3 - 4 鋼橋架設工」による。

② (訂正箇所) 上巻 1089 ページ 6 (1) 表 6. 1 機種を選定 2 行目規格欄

(誤) 排出ガス対策型油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第2次基準値) 25t 吊

(正) 油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第2次基準値) 25t 吊

② (訂正箇所) 上巻 1105 ページ 3 - 6 1 適用範囲

(誤) なお、架設工は、「第3編林道3 - 3 P C 橋架設工」により別途計上する。

(正) なお、架設工は、「第3編林道3 - 5 P C 桁架設工」により別途計上する。

② (訂正箇所) 上巻 1108 ページ 6 表 6. 1 (注) 4.

(誤) ……少数第1位を四捨五入する。

(正) ……小数第1位を四捨五入する。

② (訂正箇所) 上巻 1115 ページ 7 (1) 表 タイヤローラ運転の摘要欄

(誤) // 機械損料

(正) // 機械賃料

- ② (訂正箇所) 上巻 1116 ページ 7 (2) ) 機械運転単価表 5・6 行目規格欄  
(誤)

ロードローラ	排出ガス対策型 (第2次基準値) マカダム 10~ <u>12</u> t
タイヤローラ	排出ガス対策型 (第2次基準値) 普通型 8~20 t

(正)

ロードローラ	排出ガス対策型 (第2次基準値) マカダム 10 t
タイヤローラ	排出ガス対策型 (第2次基準値) 普通型 <u>運転質量</u> 8~20 t

- ① (訂正箇所) 下巻 (727 ページ) タイトル

(誤) 12 森林整備保全事業に係る仮設材賃料算定基準

(正) 11 森林整備保全事業に係る仮設材損料算定基準

- ② (訂正箇所) 下巻 (784 ページ) 1-1-1-25 7. 適用規定

(誤) ……第3編 3-1-1-6 監督職員……

(正) ……第3編 3-1-1-5 監督職員……

- ② (訂正箇所) 下巻 (784 ページ) 1-1-1-26 5.

(誤) 5. ……第3編 3-1-1-6 監督職員……

(正) 5. ……第3編 3-1-1-5 監督職員……

- ② (訂正箇所) 下巻 (866 ページ) 3-3-3-2 2. 2段落目

(誤) なお、第1編 1-3-3-2 第1項……

(正) なお、第3編 3-3-3-2 第1項……

- ② (訂正箇所) 下巻 (867 ページ) 3-3-3-2 3. 1段落目

(誤) ……及び第3編 3-4-4 材料……

(正) ……及び第3編 3-3-4-4 材料……

- ② (訂正箇所) 下巻 (911 ページ) 3-4-3-14 1. 及び2.

(誤) 1. ……第3編 3-4-3-11 PCホロースラブ製作工の規定による。

2. ……第3編 3-4-3-13 ポストテンション桁製作工の規定による。

(正) 1. ……第3編 3-4-3-13 PCホロースラブ製作工の規定による。

2. ……第3編 3-4-3-11 ポストテンション桁製作工の規定による。

② (訂正箇所) 下巻 (951 ページ) 3-4-6-1 1. 適用工種

(誤) 本節は、一般舗装工として舗装準備工、橋面防水工、アスファルト舗装工、半たわみ性舗装工、排水性舗装工、透水性舗装工、グースアスファルト舗装工、コンクリート舗装工、薄層カラー舗装工、ブロック舗装工、路面切削工、舗装打換え工、オーバーレイ工、アスファルト舗装補修工、コンクリート舗装補修工その他これらに類する工種について定める。

(正) 本節は、一般舗装工として舗装準備工、橋面防水工、アスファルト舗装工、コンクリート舗装工、路面切削工、舗装打換え工、オーバーレイ工、アスファルト舗装補修工、コンクリート舗装補修工その他これらに類する工種について定める。

② (訂正箇所) 下巻 (962 ページ) 3-4-6-6 橋面防水工

(誤) 1. 適用規定(1) (本文略)

2. 適用規定

橋面防水工にグースアスファルト混合物を用いて施工する場合は、第3編3-2-6-11 グースアスファルト舗装工の規定によるものとする。

3. 特殊な施工方法 (本文略)

4. 橋面防水工の施工 (本文略)

5. 滞水箇所の処置 (本文略)

(正) 1. 適用規定 (本文略)

<削除(表題及び本文)>

2. 特殊な施工方法 (本文略)

3. 橋面防水工の施工 (本文略)

4. 滞水箇所の処置 (本文略)

② (訂正箇所) 下巻 (997 ページ) 3-4-9-14 1. 骨材再生工の施工

(誤) ……第1編 1-1-1-21 建設副産物の規定による。

(正) ……第1編 1-1-1-19 建設副産物の規定による。

② (訂正箇所) 下巻 (998・9 ページ) 3-4-9-15 1. 及び2.

(誤) 1. ……第1編 1-1-1-20 工事現場発生品の規定による。

2. ……第1編 1-1-1-21 建設副産物の規定による。

(正) 1. ……第1編 1-1-1-18 工事現場発生品の規定による。

2. ……第1編 1-1-1-19 建設副産物の規定による。

② (訂正箇所) 下巻 (1056 ページ) 4-2-4-3 作業土工(床掘・埋戻し)

(誤) ……第1編 3-3-1-14 作業土工(床掘・埋戻し)の規定による。

(正) ……第1編 3-2-1-14 作業土工(床掘・埋戻し)の規定による。

② (訂正箇所) 下巻(1064ページ) 4-2-10-3 プレキャストカルバート工

(誤) ……第1編 3-4-3-28 プレキャストカルバート工の規定による。

(正) ……第1編 3-4-3-25 プレキャストカルバート工の規定による。

② (訂正箇所) 下巻(1080ページ) 4-4-3-3 捨石工

(誤) 捨石工の施工については、第4編 3-4-3-17 捨石工の規定による。

(正) 捨石工の施工については、第3編 3-4-3-17 捨石工の規定による。

③ (訂正箇所) 下巻(1102ページ) 5-3-5-4 コンクリート治山ダム本体工

(誤) 10. 止水板の接合(本文略)

11. 接合部の止水性の確認(本文略)

12. 吸出し防止剤の施工(本文略)

(正) 10. 受注者は、旧コンクリートの材齢が、0.75m以上1.0m未満リフトの場合は3日(中2日)、1.0m以上1.5m未満リフトの場合は4日(中3日)、1.5m以上2.0m以下のリフトの場合は5日(中4日)に達した後に新コンクリートを打継がなければならない。これにより難しい場合は、施工前に設計図書に関して監督員の承諾を得なければならない。

11. 止水板の接合(本文略)

12. 接合部の止水性の確認(本文略)

13. 吸出し防止剤の施工(本文略)

② (訂正箇所) 下巻(1120ページ) 5-5-8-6 落石防護土留工

(誤) 落石防護土留工の施工については、第6章第3節に準ずるものとする。

(正) 落石防護土留工の施工については、第5編第5章第6節土留工に準ずるものとする。

② (訂正箇所) 下巻(1146ページ) 5-7-7-1 減勢杭、減勢枠組

(誤) 減勢杭及び減勢枠組の施工については、第5編5-3-6-1～5-3-6-10 鋼製治山ダム工及び第5編5-6-7-1～5-6-7-3 杭工に準ずるものとする。

(正) 減勢杭及び減勢枠組の施工については、第3章第6節鋼製治山ダム工及び第6章第7節杭工に準ずるものとする。

② (訂正箇所) 下巻(1162ページ) 6-1-3-1 2. 適用規定

(誤) 工場製作については、第3編第2章第12節工場製作工(共通)の規定による。

(正) 工場製作については、第3編第4章第12節工場製作工(共通)の規定による。

② (訂正箇所) 下巻 (1214 ページ) 6-5-6-6 床板・横組工

(誤) ……第3編 3-4-3-13 ポストテンション桁製作工の規定による。

(正) ……第3編 3-4-3-11 ポストテンション桁製作工の規定による。

② (訂正箇所) 下巻 (1222 ページ) 6-5-11-2 4. 適用規定(4)

(誤) ……第3編 3-4-3-13 ポストテンション桁製作工の規定による。

(正) ……第3編 3-4-3-11 ポストテンション桁製作工の規定による。

② (訂正箇所) 下巻 (1289 ページ) 6-10-21-4 28 現場溶接部の試験及び検査

(誤) 受注者は、現場溶接部の試験及び検査を、表6-20-2により実施し、その結果を  
工事完成時に監督職員に提出しなければならない。

表6-20-2 現場溶接部の試験・検査基準 (以下略)

(正) 受注者は、現場溶接部の試験及び検査を、表6-10-2により実施し、その結果を  
工事完成時に監督職員に提出しなければならない。

表6-10-2 現場溶接部の試験・検査基準 (以下略)

② (訂正箇所) 下巻 (1290 ページ) 6-10-21-4 30 不合格箇所が出た場合

(誤) 表6-20-2の試験……

(正) 表6-10-2の試験……

② (訂正箇所) 下巻 (1290 ページ) 6-10-21-5 1. 適用規定

(誤) ……第1編第3章の無筋・鉄筋コンクリートの規定による。

(正) ……第3編第3章無筋・鉄筋コンクリートの規定による。

③ (訂正箇所) 下巻 (1540 ページ) 2 (6) 2段落目

(誤) また、『デジタル工事写真の黒板情報電子化について』……

(正) また、「デジタル工事写真の黒板情報電子化について」……

[注] 訂正箇所左の黒丸数字は、収録時の版に対応しています。

③ 第3版 令和元年11月12日

② 第2版 令和元年9月26日

① 第1版 令和元年9月5日